



2017
Vol.26

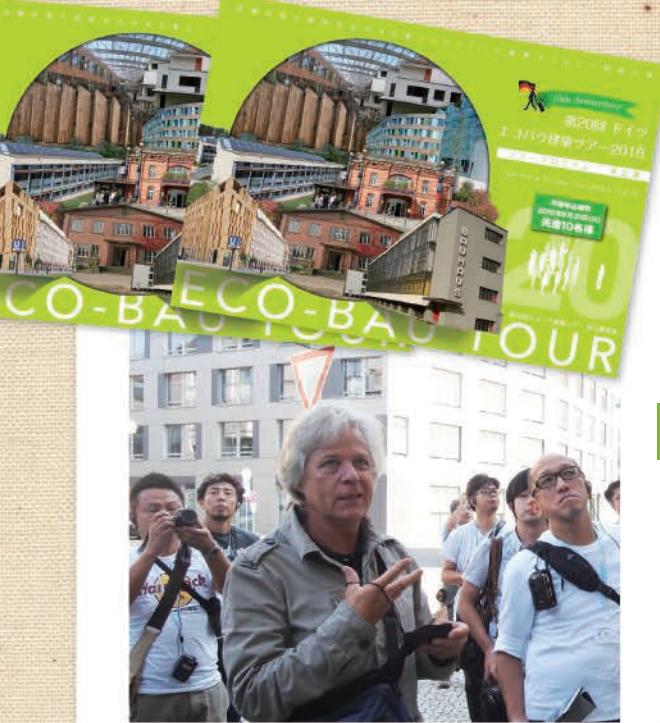
“住む人が主役の家づくり”に、もっとファンを！

第20回 ドイツ エコバウ建築ツアー 2016

環境順応性・経済性・社会性
バランスを保つ
持続可能な建築

Ecology・Economy・Socio-cultural
Nachhaltige Architektur





コーディネーターを務めるホルガー・ケニッヒ氏

20th Anniversary



第20回 ドイツ エコbau建築ツアー2016

視察レポート

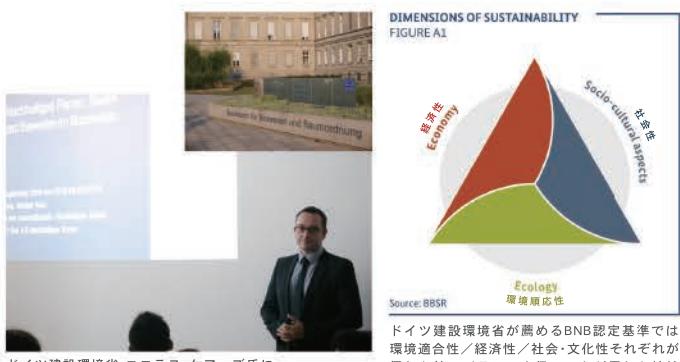
2016年9月に開催したエコbau建築ツアーは今年、第20回目の節目を迎えました。今回の視察先は、ドイツ北部 持続可能な発展をテーマに掲げ、再開発が進むハンブルクからはじまり、歴史とモダン建築が共存する東ドイツ ベルリンのエコロジー建築を視察、ツアーの最終日には、デッサウにあるBAUHAUSを視察し、100年・200年後も残すべき建築のあり方を改めて感じさせられたツアーとなりました。



持続可能な環境都市を目指す「ハーフェンシティ」の都市再開発

再生都市と先駆的なエコロジーへの取り組み

ハンブルクは運河が多く、ヨーロッパでも最大の国際的な貿易都市として栄えました。しかし、石炭の貯蔵庫や貿易港としての役割を終えた今、新しく、持続可能な環境都市をテーマに「ハーフェンシティ」の再開発が進んでいます。約150年の歴史を持つ美しい赤レンガ街「シュバイヒャュタット」の景観をそのままに、環境の持続可能性を考えた住居・商業施設・文教施設・公園などの建設が進められています。また、2006年-2013年に開催されたIBA(Internationalen Bauausstellung)では、約70もの革新的で且つ実験的なプロジェクトに着手し、将来の社会と暮らしに関わる実験と展示が行われました。ハンブルクでのIBAは閉幕しましたが、プロジェクトは引き続き取り組まれています。このような先駆的なエコロジーに取り組むハンブルクは、2011年「歐州環境首都賞」を受賞し、高い環境水準を達成する為に現在も意欲的に取り組んでいます。



ドイツ建設環境省 ニコラス・ケアーズ氏によるサスティナブル建築への取り組み

ドイツ建設環境省が発めるBNB認定基準では、
環境適合性／経済性／社会・文化性それぞれが
優れた値でバランスを保つことが優れた持続的建築として定めている。

持続可能な建築と環境順応性

ドイツでは、温室効果ガスの排出量を1990年比で2020年までに40%削減、2050年を目標に80~95%削減するという高い目標を掲げ、環境保護と持続可能な建築の促進を重要な施策の一つとして取り組んでいます。建築における、省エネ、環境保護では、ドイツ建設環境省が2006年より、BNB(Bewertungssystem Nachhaltiges Bauen サスティナブル建築の評価システム)認定基準を設け、省エネだけでなく、環境適合性や経済性、社会・文化性などの幅広い側面から「持続的な建築」の評価を行っています。認定基準は細かく様々な項目に分かれており、各機関での承認が必要なため、建設評価システムの構築と、専門家の育成に力を入れています。

ECO-BAU
-ikeo

Observation Report

視察先レポ

今回のツアーでは、
ハンブルク～ベルリンへと移動しながら、
合計22カ所を視察しました。
ツアーで視察した特徴ある建物を
ご紹介します。



IBAハンブルク (Internationalen Bauausstellung) 国際建築展示会



2006年から8年間の期間で開催されたIBAハンブルクも2013年に閉幕。約70もの革新的なプロジェクトの一部は今も引き続き取り組まれている。革新的なプロジェクトの一つであるBIQは、生物のファサードが特徴で、ガラスパネルの間で藻類を繁殖させている。専用のポンプでCO₂を供給し光合成を促すことでバイオガスが発生。発生したバイオガスは、バイオエネルギーとして建物のエネルギーとして利用し余剰したエネルギーは貯蔵するか、地域の暖房ネットワークにも送られている。

美しい木のファサードが特徴のWood cubeは、環境に順応する代表的な建築を建てる為、「エコロジーとは何か？」という問い合わせから設計を始め、永く使えるモノこそ「環境順応建築である。」という考えを元に取り組んでいる。外壁は木を使ったパネル工法で、中心部は12cmの板材に周辺を6～8cmの厚みを持たせ断熱性を確保、外壁全体の厚さは31cmになり当然バッシブハウス基準をクリアする。日本の寺社仏閣の技術にも興味を持ち、込み栓のように木で出来た木ネジによって接合している。

IBAハンブルクで取り組まれたプロジェクトでは、近未来的で実験的な建築の取り組みが多く、環境順応・エコロジーの考え方も地方によって定まっていないのが実情だ。国が主導する評価システムの構築と専門家の早急な育成が今後の課題だという。

スマート・マテリアル・ハウス



パッシブハウスの規格に適合した建物。南面には布製の帆が設置され太陽電池としての役割を担っている。帆状の幕は、採光の調整やウィンドウキャッチャーとして風を取り込むなど、季節に応じた暮らし方を提案する。

リボス社 LIVOS Pflanzenchemie

ハンブルクから南下しユルツェンの郊外、緑豊かな小さな町にリボス社の工場がある。2016年には創業42周年を迎え、町の人たちを交えての祭典が開催された。7年周期で行われる式典は、シュタイナーのアントロポソフィー（人智学）の教えによるもので、7年周期で人生の節目が訪れるということからだ。旧家具工場でもあったレンガづくりのリボス社の社屋はできるだけ昔の姿を残そうと最小限の改修のみを行っている。ツアー中は、リボス製品の実演やワークショップ、セミナーではリボス社の理念を伺った。昼食はヘルシーな野菜の料理がメイン、契約農家で栽培されリボス製品にも使われる亜麻仁油（食品精製）はジャガイモや野菜にかけてもおいしく頂ける。



セミナーではリボス社の理念と製品の特長を紹介
リボス製品の実演とワークショップ



42周年の記念にあわせて、エントランスの床を改修した



エーベルスヴァルデ・オフィスビル

エーベルスヴァルデにある行政管区（行政府）として使用されるオフィスビル兼複合施設。戦争で延期されていた町づくりの空白地域を2004年に国の入札にて落札し、2007年に着工2009年に完成した。入札の条件は、「全ての素材が持続的に使用できること。防汚性・防音性など機能性に優れ正在のこと。個々の建物が連携でき、将来いかなる用途にも対応できる多目的建築であること。」建物内には、防汚性と吸音性に優れた再生系を使用した絨毯（クーゲルガン：イスス製）が敷かれおり安価で導入できる他、補修跡も分かりづらいというメリットがある。建物自体はCLT構造。大きな開口によって日中はほぼ自然光のみで活動でき、基礎杭には地熱利用できる熱交換型の支柱を採用するなど、エネルギー効率に優れた環境順応建築を実現している。



掲載雑誌紹介

Come home! vol.45

(主婦と生活社)

ライフスタイル誌
8月20日
発売木と漆喰で建てた家族の思い出を紡ぐ家。
家族の距離を
ぐっと縮める
「ミルクーヘン」

家事動線のよさばかりか家族の様子もわかる間取りに感激。趣味の手芸を楽しむ時間が増えました。そんな住まい手に寄り添った家づくりが紹介されています。

【設計・施工】アズ・コンストラクション
大分県大分市大字津守490-45 URL <http://www.az-c.jp>

Come home! vol.39

(主婦と生活社)

ライフスタイル誌
11月20日
発売家族だんらんを
大切にする
「ミルクーヘン」

家族とのコミュニケーションを大切に、家族が使える趣味コーナーを併設。料理をしながら会話がはずむようになりました。家族のライフスタイルに合わせた家づくりが紹介されています。

【設計・施工】アズ・コンストラクション
大分県大分市大字津守490-45 URL <http://www.az-c.jp>Come home !
HOUSING

(主婦と生活社)

ライフスタイル誌
10月21日
発売

30代やくり上手な夫婦が建てたナチュラルで心地のいい家。限りある予算の中で建てた、家族とのつながりをもてる家。無垢の床、漆喰壁、石、レンガ…自然素材にこだわって実現した心地のいい家が紹介されています。

新建ハウジング
プラスワン

(新建新聞社)

専門誌
10月30日
発売

環境先進国ドイツを見る「建築の持続性と環境順応性」第20回 ドイツ エコハウ建築ツアーの視察レポートが掲載されました。



イベント情報

Big Seminar 2017

フランク・ラトケ
Frank Lattke
lattkearchitects
(アウクスブルク)ホルガー・ケーニッヒ
Holger König
Ascona for ecological projects
(ミュンヘン)

2017年4月5日(水)

TOKYO 12:30 開場
13:00 開演会場 大手町サンケイプラザ3階
301-303会議室

2017年4月6日(木)

OSAKA 12:30 開場
13:00 開演会場 梅田スカイビル タワーイースト36階
スカイルーム

浸透性のカラーオイルで、外装やデッキ材に最適！

アリス ALIS No.579

商品情報

低粘度の亜麻仁油が木の導管に深く浸透する為、南洋材ハードウッドだけでなく、針葉樹などでも耐候性を高め、毛羽立ちを抑えます。

木の素材感を活かし、経年美を演出する新色も登場！

リボス自然塗料から特徴ある素敵な新商品がラインナップに加わりました。資料・サンプルのご請求は、HPからお願いします。

この情報誌に関するお問い合わせ
資料・サンプル請求は

株式会社

Okeda CORPORATION イケダコーポレーション

0120-544-453

仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡

〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島4丁目8-28 FJビル3F
TEL.06-6452-9377 FAX.06-6452-9378〒104-0045 東京都中央区築地7丁目10-2 築地小川ビル4F
TEL.03-3544-4453 FAX.03-3544-4450<http://www.iskcorp.com>
E-mail info@iskcorp.com